

JIA 関東甲信越支部長活動報告

2013年8月



支部長 上浪 寛

支部執行部からのメッセージ

JIA 本部では委員会再編を進めています。支部での委員会活動を活性化させた上で、全国ネットワークを推進しようというものです。特に関東甲信越支部では支部になかった本部委員会活動について JIA 会員の半数を背景に持つ支部役員会が関与していませんでした。支部、地域会を中心に多くの会員の具体的な活動を促します。支部毎の活動は（仮称）全国会議の場を設けてネットワークを整備していきます。関東甲信越支部では災害対策委員会、国際事業委員会、環境委員会、都市・まちづくり委員会、建築・まちづくり委員会、保存再生部会を新たに設けますので積極的により多くの会員に係わっていただきたいと思っています。

2020年の東京オリンピック開催が決まりました。現在の日本にはやるべきこと、投資すべき場面は他に山ほどあります。しかし7年後のオリンピックが決まった以上、世界に対して、次世代の日本の若者に対して責任を果たしていかなければなりません。日本政府は原発処理、震災復興を世界に対して約束しました。私たちは建築の専門家として、東京の新しい都市づくり、まちづくりを世界に示していく必要があります。そして2020年東京オリンピック後の日本を支えていく次世代の若者のことを考え、持続可能な東京のまちを造っていくため積極的に関与していく必要があります。

支部長活動報告

- 1日 建築・まちづくり支援委員会（日本版 CABE タスクフォース）が開催される。北海道大会でのパネラー、コメンテーター他、役割の確認をする。
- 2日 新しい支部委員会の立ち上げ準備ミーティング。今日は特に国際事業について意見交換を行う。手始めとして上海建築学会との交流を進める。東京三会建築会議を開催する。7月に流れた東京都との懇談会について話し合う。今月中に三会の事務局が東京都に出向き日程調整を行う。
- 5日 芦原事務所でリアニア建築展-EAST EAST IV実行委員会が開催される。作品展示について、参加建築家のスケジュール確認、参加学生について、等の確認を行う。
- 19日 資格制度委員会が開催される。JIA 会員は原則的に登録建築家となることをテーマに大会でのシンポジウムを行う。
- 21日 本部委員会、支部委員会の再編について副会長並びに専務と意見交換。関東甲信越支部には新たに災害対策委員会、国際事業委員会、環境委員会、建築・まちづくり委員会、都市・まちづくり委員会、保存再生部会、

- を設ける予定。
- 22日 第214回理事会の開催。本部委員会再編による9委員会委員長が承認される。準会員、協力会員の入会申込書が承認される。小規模建築物設計施工一括用設計合意書約款を建築7会で作成しているがJIAが名前を連ねるかどうかの審議。小規模設計施工一括型のプロジェクトでは設計契約書が交わされないことが多い。消費者保護の観点から設計合意書として約款を作成している。設計合意書には重要事項説明を行うことが明記されており、設計者としての立場が比較的明確になる。理事会としては、JIAと直接係わりのない分野であっても、構成団体(7会)としてこの約款の発刊に協力する意向を確認する。しかし、設計施工分離型約款を作成中の現段階では名前を連ねることを避けて、分離型約款ができた段階まで待つことにする。
- 29日 総務省行政評価局のヒアリングがある。8月26日に突然調査依頼が来て、本日面談することになった。国、地方を含めた行政機関の評価を行う部署で、温存されている規制について改善を促し、または勧告する。必要とあれば法律改正も視野に入る。今回の調査は8月から11月までの4ヶ月間で、9月6日までにヒアリングの結果を局として確認し、9月中旬から11月まで調査を行うというものだ。JIAについてHP等で調べたところ会としての要望は保存関連くらいしか見当たらないので他に何かないか、設計の実務者として気の付いた問題点を尋ねられた。思い付くままに、①建築士の処分問題について②既存建築ストックの再活用について、規制が厳しく建て替えを余儀なくされることが多く、サステナブルが求められている今の時代に合っていない。③現在の一級建築士は設計者だけの国家資格ではない。サービス貿易の自由化に伴い世界に通用する設計者の国家資格が必要で、そのため建築士法改正運動を展開している。の三点を述べた。本部総務委員会を開催する。先週の理事会で私が総務委員長を拝命したため早速委員会を開催した。ミッションの確認、今後整備していく規程類について、緊急の課題として本年度理事候補者選挙について、新法人に合わせた選挙規程の改正などについて協議した。本部災害対策委員会と話し合いの場を持つ。関東甲信越支部に災害対策委員会を設置する件で協力をお願いする。
- 30日 筒井専務、相談委員会山本委員長と共に公益財団法人 紛争処理支援センターを訪問する。センターで計画しているパイロット事業への協力を申し出る。本部国際委員会が開催される。本部国際委員会は会長直轄の委員会として日本の建築界全体と連携しながらJIAの国際戦略を練り活動することをミッションとする。現在の委員は関東甲信越支部国際事業委員会委員に移行する。支部で活動することでより柔軟に活動するとともに、支部同志の国際活動連携を取っていく。

支部長活動報告 2013年7月

2013年9月10日作成 上浪 寛